

神戸医療センター 病診連携だより

編集・発行：独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター

〒654-0155 兵庫県神戸市須磨区西落合3丁目1-1 TEL 078-791-0111

神戸医療センター整形外科からの感謝とお願い

—— 近隣の病院や開業医の皆様へ ——

神戸医療センター整形外科は、地域の医療機関の皆様の日々のご支援とご協力に感謝しております。私たちは、脊椎疾患の治療において長年の経験と実績を持ち、地域医療に貢献してまいりました。また、近年では上肢領域の肩、肘、手の疾患や外傷、下肢領域の股関節、膝、足の疾患や外傷に関しても広範囲に対応し、専門的な診療を行っております。

今回は特に、私の専門である肩関節疾患に焦点を当て、その中でも本邦において2014年から使用可能となったリバーstype人工肩関節について、その適応と治療成績についてご紹介させていただきます。

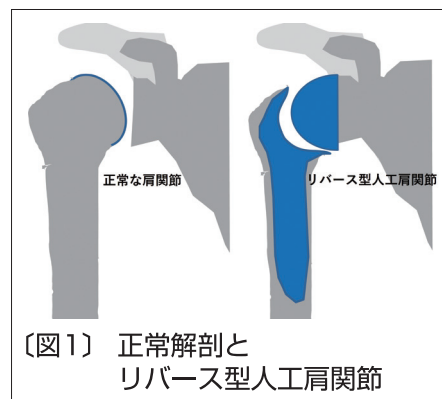
●リバーstype人工肩関節

【開発と歴史】リバーstype人工肩関節は、本来の解剖とは凹凸が逆（リバーstype）になった斬新なデザインを持ち、1980年代にフランスで開発されました（図1）。肩関節の支持組織である肩腱板が広範囲に断裂すると肩関節は不安定となり挙上ができなくなりますが、凹凸を逆にすることで肩腱板が無くても三角筋による挙上力をより有効化し、肩関節の安定性と機能を向上させました。

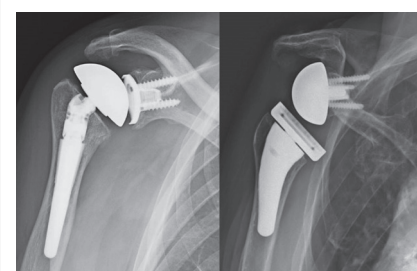
【適応】リバーstype人工肩関節は、肩関節の機能を回復させるために開発された革新的な治療法であり、従来の人工肩関節では対応が難しかった以下のような疾患にも適応があります（図2）。

- 修復不可能な肩腱板広範囲断裂
- 巨大骨欠損を伴う変形性肩関節症
- 高度な粉碎を伴う上腕骨近位端骨折

【治療成績】本邦において2014年から使用可能となったリバーstype人工肩関節の治療成績は、非常に良好です。多くの患者様が手術後に肩の痛みや挙上制限などの機能障害から解放され、日常生活を再び楽しむことができるようになりました。



〔図1〕 正常解剖と
リバーstype人工肩関節



〔図2〕 左：従来の人工肩関節
右：リバーstype人工肩関節



カンファレンスでは整形外科全員で全手術症例を検討しています

私たちは、整形外科疾患全般に対して患者様に最善の医療を提供し続けることを目指しております。近隣の病院や開業医の皆様と連携し、地域の皆様の健康を守るために尽力いたします。整形外科疾患でお困りの患者さんがおられました、いつでもご紹介いただけましたらと存じます。

今後とも、どうかよろしくお願い申し上げます。

神戸医療センター整形外科部長 国分 毅

令和6年度地域医療支援病院運営委員会を 開催しました

地域医療連携室

令和7年2月13日に当院会議室にて、令和6年度地域医療支援病院運営委員会を開催しました。この委員会は当院が地域医療支援病院として地域からの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に際して必要な支援を行うために、地域の医師会の先生、市区の職員、消防救急職員、地区民代表など地域の医療に携わる方々からご意見、ご質問を頂く貴重な場です。

今回は神戸市医師会理事をはじめ、7名の外部委員の方々にご参加いただきました。開催にあたっては、地域医療連携室長より当院の概況を含めた地域医療連携の現状と課題について報告し、また救急患者の積極的受け入れや広報活動など当院が力を入れている取り組みを紹介いたしました。

委員からは、土曜午前の地域医療連携室オープン、JR垂水駅までの無料送迎車の導入、返書対応等のご要望、ご意見をいただきました。地域の関係機関との連携の強化を進めていくうえで、非常に価値のある意見を頂戴できたこと感謝申し上げます。いただいた内容をしっかりと検討し、要望にお応えできるよう前向きに取り組む考えでございます。

当委員会が当院の運営にとって重要な会である事を再認識し、さらに急性期病院としても改善に向けて貴重なご意見を頂きました。人口減少が進む中で全国的にも非常に経営難な状況ですが、世の中の状況が変わろうとも地域医療連携の重要性に変わりはないと思っております。当院は引き続き地域医療支援病院としての責務を果たしていく所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。





新任医師のご紹介

(専攻医以上)



外科医長
つかわ だいすけ
津川 大介

このたび、神戸大学病院肝胆膵外科より着任いたしました。これまで胆道癌、肝癌、膵癌などの悪性疾患の治療をはじめ、急性胆嚢炎や肝移植にも携わってまいりました。私は須磨区出身で、北須磨地域には特に親しみを感じています。これからは地元の先生方と連携し、地域の皆さまにより良い医療を提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



外科医師
あさくら ゆう
朝倉 悠

4月より神戸医療センターの外科で勤務させて頂く朝倉悠と申します。大阪の高槻病院で初期研修を行い、神戸大学医学部附属病院、済生会吹田病院、済生会中津病院で勤務致しました。良性疾患から悪性疾患まで広く診療させて頂きます。地域の医療を支えるように、頑張りまします。宜しくお願い致します。



内科医師
まつもと ゆうき
松本 祐樹

2025年4月より着任致しました、内科のまつもとゆうきです。これまでは兵庫医科大学 循環器・腎透析内科に所属し、循環器専門医として心不全や各種の不整脈、狭心症・心筋梗塞などの疾患を中心に診断・治療・研究に携わって参りました。当院内科に赴任後は、総合内科専門医として一般内科、総合内科的疾患の診療・治療にも従事し、地域の医療に貢献していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



消化器内科医師
ながお かえ
長尾 佳映

今年度から消化器内科医師としてお世話になります。生まれ育った地元の医療に貢献できる機会を頂けて嬉しく思っています。通常の内科・消化器内科診療はもちろんですが、特に内視鏡については苦痛が少なくかつ質の高い検査を心がけますので、今後もお気軽ににご相談頂けますと幸いです。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。



循環器内科医師
ほんで けい
本出 圭

4月より循環器内科に赴任いたしました、本出（ほんで）圭と申します。どうぞよろしくお願いいたします。昨今、全国的に心不全や動脈硬化といった循環器疾患をお持ちの方が増加しております。息切れやむくみ、胸の違和感といった症状がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。またCT検査や心エコー検査をはじめとした、負担が少ない検査技術も当院には十分に整っておりますので、安心して受診いただけます。



眼科医師
かみむら あや
上村 亜弥

はじめまして、4月より勤務させていただきます上村亜弥と申します。これまで神戸大学医学部附属病院眼科での臨床経験を積んでまいりました。神戸医療センターでも、患者さんに寄り添った丁寧な医療を提供できるよう努めてまいります。まだ不慣れな点もあるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



整形外科医師
まつだ さとし
松田 誠士

今年度より整形外科に着任いたしました松田誠士と申します。初期研修医を当院で修了し、4年越しに戻って参りました。出身地である神戸の地域の医療に少しでも貢献できるよう精進いたします。よろしくお願いいたします。



小児科医師
いしむら さとこ
石村 怜子

このたび小児科にて勤務させていただきます、石村怜子です。大阪府と兵庫県で後期研修3年間行っておりました。未熟な部分も多く、多くのことを学ばせていただきたいと思います。少しでも地域医療に貢献できるよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



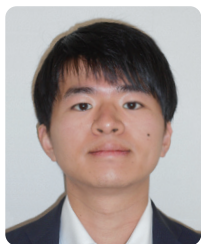
放射線科医師
そ ふいーや
曾 菲亜

4月より勤務させていただいております放射線科専攻医(医師6年目)の曾と申します。以前は神戸大学医学部附属病院や兵庫県立こども病院、神鋼記念病院で研修しておりました。名谷駅のリニューアルもあり、活気ある風光明媚なこの地で勤務できることを嬉しく思っております。地域医療に貢献できるよう精進して参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器内科専攻医
なかかわ ゆうた
中川 雄太

この度消化器内科専攻医3年目になりました、中川雄太と申します。初期研修と専攻医1年目を当院で行ったのち、別の施設に異動し、このたび戻って参りました。皆様方には以前より大変お世話になりましたが、改めてご指導、ご鞭撻のほどいただけますと幸いです。大変ご迷惑をおかけすることと思いますが何卒どうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器内科専攻医
あさだ ともゆき
浅田 朋侑

消化器内科専攻医1年目の浅田朋侑と申します。当院にて初期研修を終了し、この度引き続き勤務させて頂くことになりました。まだまだ経験も浅く、度々で迷惑をおかけするかもしれませんが、日々全力で精進して参ります。地域の医療に貢献できるように全力で頑張っていけますので何卒宜しく御願い申し上げます。



消化器内科専攻医
ほりえ あきひろ
堀江 瑛裕

消化器内科専攻医1年目の堀江瑛裕と申します。昨年度まで初期研修医として神戸医療センターで勤務しており、近隣の先生方には大変お世話になりました。学ばせていただくことが多い若輩ですが、精一杯努力させていただきますので、よろしくお願いいたします。



呼吸器内科専攻医
みやまえ ひであき
宮前 秀彬

今年度より呼吸器内科で勤務させて頂く宮前秀彬と申します。まだまだ若輩者ではございますが、地域の医療に貢献できるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科専攻医
みやぎ さきよし
宮城 左京

"初めまして。整形外科の宮城左京と申します。琉球大学出身で生まれも育ちも沖縄です。琉球大学の医局員ですが、日本屈指の脊椎手術を行っている神戸医療センターで勉強させていただくために2年間ほど勤務させていただくことになりました。精一杯がんばりますので、よろしくおねがいします。"



整形外科専攻医
のま けいすけ
野間 啓佑

今年度より勤務させていただく、整形外科専攻医2年目の野間啓佑です。昨年度は神戸労災病院、神戸大学病院にて研修を行っておりました。微力ではございますが、皆様のお役に立てるよう、精一杯務めて参りますので皆様どうぞよろしくお願い致します。



整形外科専攻医
たなか たくま
田中 琢磨

今年度より整形外科で勤務させていただき専攻医1年目の田中琢磨と申します。研修医1年間は神戸医療センターにて勤務しておりました。まだまだ未熟で迷惑をおかけすることも多くあると思いますが、精一杯努力させていただきますのでよろしくお願いいたします。



産科専攻医
くさか まみこ
日下 真美子

今年度より産婦人科に赴任しました日下真美子と申します。専攻医3年目とまだまだ不慣れな点があるかと思いますが、患者様に向き合いながら日々診療にあたりたいと思っております。地域の診療に貢献できますよう精進して参りますので、これからよろしくお願いいたします。



産科・婦人科専攻医
まきの りょうま
牧野 涼馬

今年度から産婦人科専攻医となりました牧野涼馬と申します。昨年度まで初期研修医として神戸医療センターで勤務しておりました。引き続きこの神戸医療センターで医療に貢献できることを嬉しく思います。ご迷惑をおかけすることも多くあるかと思いますが、精一杯頑張参りますので御指導御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



独立行政法人国立病院機構

神戸医療センター 地域医療連携室

〒654-0155 神戸市須磨区西落合3-1-1

TEL : 078-795-6584 (直通)

FAX : 078-795-6591

<https://kobe.hosp.go.jp>

開室時間：
午前8時30分～午後7時00分
〔月～金曜日〕
〔祝日・年末年始を除く〕



- 神戸市営地下鉄名谷駅から徒歩15分
- 神戸市営バス「神戸医療センター前」すぐ
- 山陽バス「神戸医療センター下」徒歩3分

